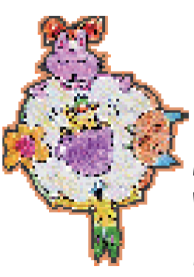




# みんなの伝言板

ご感想は e-mail : kouhou @ rond.jp までどうぞ  
★編集メンバー 遠藤・佐藤・谷・七瀬・前田・和田



# SSKS 療育ねっとわーく川崎

2016年7月20日発行  
No.189 (2800部)  
NPO法人  
療育ねっとわーく川崎  
発行者 江川 文誠  
編集者 谷 みどり

## 読者の皆様へ

26日、朝のニュースを観られた方は、驚愕されたことと思います。私たちにもつながりのある「津久井やまゆり園」で、重度の障害のある方たちに対する、元職員の凶悪な事件が起きました。

犠牲になられた方々に心から哀悼の念を捧げます。ご家族や職員の方、今日まで関わってこられた方々は、どんなに深い悲しみと憤りをもっておられることか、想像もできません。

どうしてこのような事件が起きたのか、どうして防ぐことができなかったのか、疑問が次々とわき上がり、気持ちの整理ができません。

ただ一つ言えることは、かけがえのない命を奪ったことは、断じて許すことができないということです。

私たちは、重い障害のある方の支援を続けてくる中で、日々その存在の重さ、命の大切さを感じ、この仕事に誇りを持ってきました。これからも、その思いは決して揺らぐことはありません。

このような事件が二度と起こらないために、私たちは、もっともっと日々の支援を大切に、障害の重い人たちが、どんなに私たちの世界をあたたく照らしてくれる存在なのかを伝える努力を今日から始めたいと思います。



今回は、住まい方について、ご紹介します。

Q 僕は、20歳で、身体に重度の障害があります。母と二人で、民間のアパートに暮らしています。住宅改修をし、移乗等には昇降機やリフトアを使用しています。母も障害があるので、毎日朝と夕方にヘルパーさんにケアをお願いします。この頃、将来の生活について、考えるようになりました。これからこの地域で暮らし続けるとしたら、どんな生活スタイルがあるのか、教えてください。

ら、安心して過ごすことができます。そのため、ご本人はともかく、将来を考えて、入所を希望されるご家族は多いのです。

グループホームで暮らす…グループホームができたのは、今から25年ほど前です。当初は、知的障害のある人に限定されていました。法制度が変わるにつれて、どんな障害のある方も入居が可能になってきています。

また、一人暮らしにチャレンジするために、グループホームの近くのアパート等を提供するサテライトという形態もあります。

一人暮らし…ヘルパー等を利用して、一人で暮らすことを選択されている人もいます。川崎では少ないのですが、見守りも含め、重度訪問介護を利用して、1日24時間の介護を受けながら、生活されている方もおられます。

入所施設で暮らす…川崎は入所施設の少ないところです。入所を何年も待っている方もいます。入所施設は、365日、支援スタッフが常駐していますか



第一部 開場 10:00 第二部 開場 12:30 第三部 開場 18:00  
『39 窃盗団』 『逃げ遅れる人々』 『普通に生きる』  
(東日本大震災と障害者)

上映時間  
第一部 『39 窃盗団』・・・ 10:30～12:25  
第二部 『逃げ遅れる人々』・・・ 13:00～14:15  
第三部 『普通に生きる』・・・ 18:30～19:55

日時：2016年9月21日(水)

場所：多摩市民館 大ホール  
川崎市多摩区総合庁舎 2階  
(JR 登戸駅から徒歩10分 小田急線向ヶ丘遊園から徒歩5分)

主催：特定非営利活動法人 療育ねっとわーく川崎 TEL: 044-930-0160 (谷・前田) 後援：川崎市・川崎市教育委員会

## 会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond  
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/  
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎  
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

## 今月号の目次

- 1 こんなときどうするの……………1
- 2 いろいろな暮らし方……………2
- 3 療育ねっ広場……………3
- 4 密着取材・ひとり暮らし……………4
- 5 ヘルパー会の報告／福島の子どもたちとともに川崎市民の会……………5
- 6 明日香のたまご……………6
- 8 みんなの伝言板……………8

(本誌3・4・5・6面は会員のみで郵送)



# いろいろな暮らし方

## 障害者施設

桜の風：中原区 定員 50 人：知的・身体障害の方  
 れいいんぼう川崎：宮前区定員 60 人  
 みずさわ：宮前区定員 80 人  
 柿生学園：麻生区定員 60 人  
 授産学園：麻生区定員 50 人  
 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎：麻生区定員 100 名  
 中央療育センター：児童知的 50 人  
 三篠会が運営する定員 47 名の入所施設が川崎区日進町福祉センター跡地に川崎市平成 32 年開所予定

家族が高齢になって、介護をしても  
 らえなくなりました。保健福祉センターに相談して、施設入所の申請を出しました。たまたま施設に空きができたので、入れました。



## グループホーム：共同生活援助

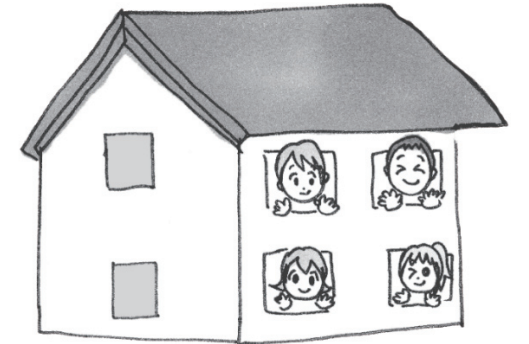
身体・知的・精神障害者等が世話人の支援を受けながら、地域のアパート、マンション、一戸建て等で生活する居住の場を言います。

川崎市には現在、79 の事業所があります。

- ・川崎区 9 事業所 170 名
- ・幸区 7 事業所 130 名
- ・中原区 12 事業所 107 名
- ・高津区 14 事業所 185 名
- ・多摩区 18 事業所 422 名
- ・宮前区 13 事業所 170 名
- ・麻生区 5 事業所 60 名

障害別では、知的障害のホームが、次に精神障害の方、身体障害の方が入居されているホームは 7 事業所だけです。

グループホームを探すのが大変でした。ホームを持っている法人の人から新設ホームができるのを聞いて応募しました。空いてよかった。



## 相談

どんな生活をお考えですか？ そもそも、どんな生活、どんな暮らし方があるんでしょう。こんな「問い」を、一緒に考え、一緒に動いてくれたり、悩んでくれる人がいたら良いと思いませんか？ いるんですよ、地域の中、案外身近なところに…。それは相談支援事業（所）です。そこではまず、あなたのお話をじっくり伺い、一緒に考え、悩み、その方への関心を注ぎ続けます。その中から、おのずと見えてくるものがあるのです。「住まい方」についても、ぜひ相談してみてください。

## ひとり暮らし

川崎市内で、単身で暮らされている方がどのくらいおられるか、実態はわかっていません。医療的ケアのある重度な障害の方も、訪問看護さんや往診ドクター、喀たん吸引等のケアができるヘルパーなどの体制を整えることで、一人暮らしも可能になっています。

家族が亡くなって一人になったから、そのまま住み慣れた家に一人で暮らしています。

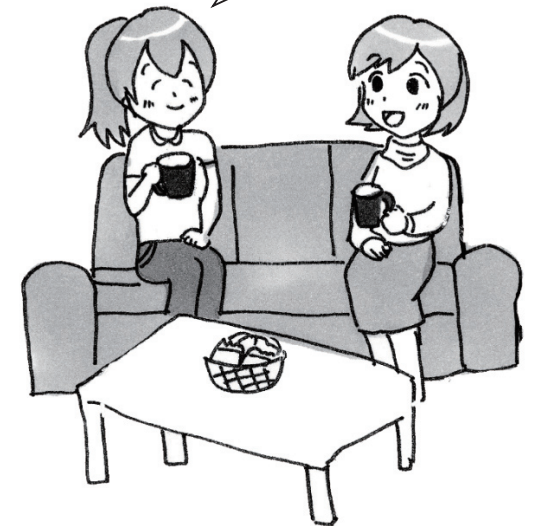


## シェアハウス

最近、少しずつ増えているのが、シェアハウスです。個々の活動は自由で、食事や入浴時間も自由にできるところが多いです。

中には、一般の方と障害の方がシェアして共同で暮らしているところもあります。

シェアハウスは、相談支援センターの人に探してもらいました。私のきもちをわかってもらっていたので、シェアハウスをすすめられました。



ヘルパーさんに、入浴や食事介助などの身体介護と身の回りの掃除洗濯などの家事援助をもらっています。



## 家族と暮らす

入所施設が少ない川崎市では、地域で暮らす＝家族と暮らす方が多くおられます。家族と暮らしていても、なんでも家族に頼るのではなく、自分でできることを増やすことはできます。